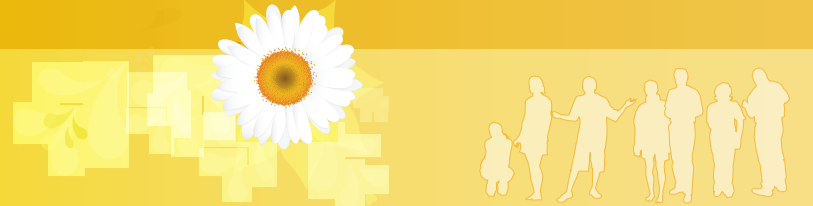


平成28年第3回定例区議会

代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

松本 佳子

平成27年度決算審査について

問 第1回定例会にて、区長が説明責任を果たしていないことを指摘した。決算審査に際し、どう受け止めたのか。

答 議会と共通認識を持ち、住民等の意向を踏まえて区政課題に取り組むことが重要。適時適切な説明等が十分でなかったとの指摘を真摯に受け止め、課題解決に向けた予算編成に努める。

校外学習の宿泊行事について

問 ①今後の宿泊行事の実施方針は②唯一の区有宿泊施設である軽井沢少年自然の家をどう活用するのか。

答 ①子どもを成長させる貴重な機会である。実施場所や時期・活動内容の改善を継続していく②より良い宿泊行事を実施するため、学校行事では使用しないこととした。それ以外の用途については、地元の都市計画による用途制限等の課題を踏まえ検討を進める。

お茶の水小学校・幼稚園の整備

問 改築に向けた検討をどう進めるのか。学校関係者や地域等の理解を得て、円滑に進めるための取り組みは。

答 現在地での校舎建て替えが基本。仮校舎の確保や通学距離等の課題、改築の日程を示し、関係者間で共通認識を持つ。地域全体での検討組織を立ち上げ、今年度末に施設整備計画を策定、来年度は基本設計に着手する予定。



自由民主党 新しい千代田

林 則行

待機児童と「隠れ待機児童」

問 厚生労働省が公表した「隠れ待機児童」は東京都認証保育所利用者も含まれる。千代田区の数値は477人①区内の認証保育所で、多様化する保育ニーズに応えた事例は②区所有の低未利用地を活用した保育所設置の考えは③園庭のある保育所や遊び場確保のため、土地を積極的に購入すべき。

答 ①区内初の病後児保育室が開設された②区の低未利用地をはじめ、区所有の公園・児童遊園等の活用を検討し、具現化を図っていく③区内で保育所設置可能な広い土地は少なく、まずは区の低未利用地を活用していく。

二番町国有地介護施設と保険料

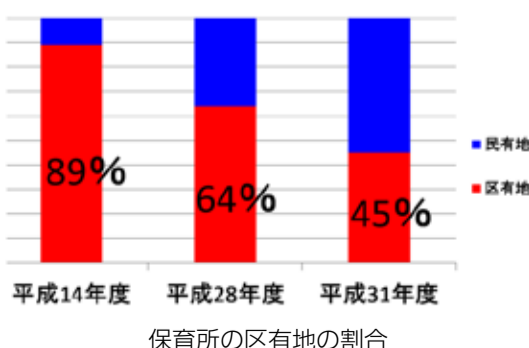
問 二番町国有地を活用した介護施設整備により、介護保険料は上昇するか。

答 特養利用に係る施設サービス費と在宅で各種サービスを利用する在宅サービス費を比較すると後者の方が若干多いため、保険料の上昇はないと想定。

区立学校の給食無料化

問 区立学校に通う区民の子どもたちの給食無料化にかかる経費を問う。

答 小学校は約1億1千万円、中学校は約4千万円。給食費を含め子どもへの補助は私立学校に通う子どもへの配慮も必要。給食の充実も含め検討する。



日本共産党区議団

木村 正明

問われる都市計画の公共性

問 ①日比谷地区の再開発の基本設計の請負業者が、同地区の地区計画策定業務を落札した。まちの将来像を決める計画を、同じ業者が請け負っている。地区計画を誘導される懸念はないか②国の特区制度は、区の自主権が及ばない。指定解除の要求をすべき。

答 ①地区計画は地権者と地域住民の合意であり、事業者に影響されない②地域の要望を反映するよう働きかける。

個人事業主への支援強化を

問 ①実態調査を実施し、事業主の要望把握を②家賃補助、大型店対策を③市民参加型の商工支援推進体制整備を。

答 ①アンケートやヒアリングを実施し現状把握に努めている②事業経費として商工融資を実施。大型店との連携には補助金で支援③区民、商店街、商工関係団体等で構成する組織を設置。

居住の安定は生存権の土台

問 ①区は借上型区民住宅契約終了後について、オーナー・居住者と協議を②マンション建て替え時に高齢者が住み続けられるよう支援を③原発事故避難者が継続して住めるよう支援を。

答 ①継続居住と住み替え支援実施②高齢所有者に配慮した合意形成のため専門家を活用③被災自治体、国、都等と連携し判断する。

